

令和8年度 看護学科 学校推薦型選抜試験

小論文の出題意図

医学部看護学科では、看護の対象である人々に関心を持ち、他者への共感と円滑なコミュニケーション能力（協調性・思考力・表現力）や、自ら課題を見つけ解決しようとする意欲と行動力を発展していくことができる人を求めている。看護学を専攻する上で必要な基礎知識、協調性、読解力、思考力、表現力、記述力を総合的に問う目的で入学試験において小論文を課す。

令和8年度学校推薦型選抜入試問題では、『臨床の知とは何か』という課題文を読み、問1は基礎知識を、問2は読解力と思考力を査定する。問3においては、指示された文章の意味を解釈し、その解釈に関連付けて自己の見解を制限字数内で正確かつ簡潔な文章にまとめ、それを論理的に表現させる記述式問題により、思考力、表現力、記述力を査定する。特に問3は、本文と問いの内容を理解し、基礎知識および論理的な思考力に基づき、自己の主張を他者にわかりやすく伝える表現力が求められることから、論述を通じたコミュニケーション能力および協調性を総合的に査定するものである。